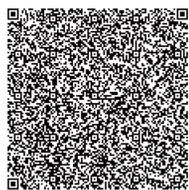
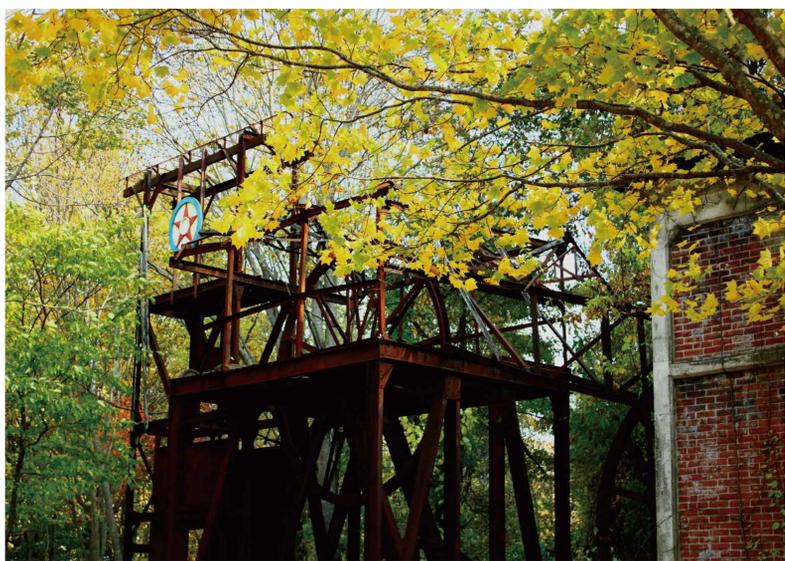


三笠の大地は地層が垂直になっており、西から東にかけてだんだんと地層年代が古くなっていくのが大きな特徴です。そのため、ひとつのまちの中で大地の「一億年時間旅行」を楽しむことができます。

また、垂直な地層のおかげで、本来地中深くにあったはずの石炭や化石などといった大地のお宝の恩恵を受けることができるようになりました。この垂直な地層は、屋根のない博物館「野外博物館」で間近に見ることができます。



屋根のない博物館「野外博物館」にある、旧幾春別炭鉱錦立坑櫓です。

秋からたくさんの木々が衣替えをするため、きれいな紅葉の景観を楽しむことができます。また、ノスタルジックな雰囲気の人気場所にもなっています。



三笠のまちの中心にある「中央公園」では、夏に盆踊り、冬にはイルミネーションが行われます。

北海道の盆踊りでよく耳にする「北海盆唄」の発祥の地ということもあり、一年を通してお祭りを楽しめるようにしています。

## さあ行こう！一億年時間旅行へ～石炭が紡ぐ大地と人々の物語～

アンモナイトが海を泳いでいた一億年前から、炭鉱まちとして栄えた現代まで、一億年時間旅行を気軽に楽しむことができる場所、それが三笠ジオパークです。

三笠ジオパークでは、世界的にも有名なアンモナイトをはじめとする一億年の生命の痕跡、石炭という大地の遺産の恩恵を植えながら暮らしてきた、炭鉱まち特有の文化を感じることができます。

### 三笠市への交通アクセス

#### お車の場合

札幌から三笠 IC まで約 30 分

旭川から三笠 IC まで約 60 分

#### 公共交通機関の場合

JR 札幌から三笠 IC まで約 30 分

バス 中央バス岩見沢ターミナルから三笠幾春別町行きに乗車、三笠市民会館まで約 35 分

